

声

# 避難の心得

**KOEI CONNECTION**  
 興栄通信 No.88 AUGUST 2018

平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生しました。気象庁は、今般の豪雨についてその名称を「平成30年7月豪雨」と命名しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、「異常天候早期警戒情報」を発し熱中症による健康被害についても警戒を強めています。今回は避難の心得についてのお話です。



## いつ避難したらいいか

各自治体から発令される避難情報には、危険度の低い順から、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」があります。「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された段階から主要な指定緊急避難場所が開設され始めます。夜暗くなってからの避難は危険ですので、日没前の明るいうちに避難を完了できるようにしましょう。また、危険を感じる場合などは、自らの判断で早めに避難することも重要です。

危険度	避難情報の種類と対応	
高 ↑ 低	避難指示(緊急)	まだ避難が済んでいない場合は、ただちに避難する。 外出することが危険な状況で屋内に残っている場合は、屋内で安全確保をする。(水害・土砂災害の場合:建物の斜面とは反対側の2階以上の部屋へ移動する。)
	避難勧告	一刻も早く避難する。 地下空間にいる場合は、速やかに安全な場所へ避難する。
	避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する方(高齢の方等)がいる家庭、あるいは危険な地域に住んでいる方は、避難を開始する。 気象情報に注意を払い、いつでも避難できるような準備をする。 避難が必要と判断する場合は、避難を開始する。



## どこに避難したらいいか

自宅はその立地条件ごとに異なった災害の脅威にさらされています。そのため、さまざまな自然災害に対し、わが家にはどのような脅威があるのかをハザードマップ等で事前に調べておく必要があります。そのうえで、万が一、災害の脅威が迫ったとき、自分や家族はどのような避難行動をとればよいのか、屋外へ避難をすべきなのか、屋内で安全を確保すればよいのかなどを判断しなければなりません。

また、安全な避難行動をとるためには、避難所が安全であること(倒壊の可能性が低い等)と、避難所に向かう経路が安全であること(氾濫するおそれがある河川の近くや土砂災害が発生するおそれがある場所は避ける等)が重要です。



## 「避難場所」と「避難所」の違い

**避難場所**  
大きな公園や広場など災害が発生または、発生する恐れがある場合にその危険から身を守るため、一時的に避難する場所。

**避難所**  
小・中学校など災害により家に戻れなくなった方が一定の期間滞在するための施設。

資料:一般財団法人 日本気象協会ホームページより  
<https://tokusuru-bosai.jp/>

## ISO/IEC 27001:2013 認証取得が完了いたしました。

私たちは、本社・横浜金沢事業所において情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際規格である、ISO/IEC 27001:2013の認証を取得致しました。今後も、情報セキュリティ基本方針を全社員が認識し、情報セキュリティマネジメントの維持・向上に努め、お客様の信頼を、より一層高めることができるよう取り組んでまいります。また、ISO 14001:2015も認証を取得しています。



## 定期健康診断が実施されました。



7月中旬に本社・横浜金沢事業所にて全従業員を対象とした定期健康診断が「金沢病院グループ 福浦健診クリニック」の協力により実施されました。受診項目は、一般定期健康診断:問診・身体計測・尿検査・血液検査・胸部X線・心電図、35歳以上は生活習慣病予防健診:便潜血反応検査・胃部X線が追加となりました。診断結果は8月中旬に出る予定です。この結果をもとに生活習慣や健康管理に繋がっていきます。

## お客様からの声募集!

いつも興栄通信をご覧いただき、誠に有難うございます。弊社では、サービス向上のためお客様の「声」を募集致します。お客様の「声」は、私たちの活力になります。ご意見、ご感想、ご提案など何でも構いませんので是非お「声」をお聞かせ下さい。尚、頂いた「声」は今後記事として掲載させて頂く場合もございますのでご了承下さい。個人情報等はこちらからのご連絡以外に使用致しませんので安心下さい。

応募先メールアドレス: [hamaoka@koei-j.co.jp](mailto:hamaoka@koei-j.co.jp)  
 担当:濱岡

暑中お見舞い申し上げます。当社の事務室脇にある給湯室。そこは社員たちの井戸端会議場だったり無かったりするのだが、小生も時折食器洗いの為にお世話になっている。その食器洗い用洗剤、いつも洗剤の出が少なく不思議に思っていたが、おろしたての新品洗剤であっても、やはり洗剤の出が悪いのである。これは摩耗不思議!キューカットの呪い、天狗の仕業だとかいう言葉が、ふと小生の脳裏によぎった。どこにも奇怪現象の一つや二つはあるものだが、そんな出来事が、小生を含めた小市民的な一部の社員たちの興味を駆り立てた。そんななか、ふとT女史と話をする機会があったのだが、物品の乱費に頭を悩ます彼女は、ちょっとした工夫をしており、給湯室の洗剤は、洗剤の出が少なくなる細工をして節約を心がけているという。幽霊の正体見たり枯れ尾花。こんなT女史の小さな節約精神けど、小さな積み重ねこそが大きなエコに繋がっていくのだろう。



## なつひろコラム エコな話。第3弾